

平成29年度第3回さいたま市地域医療構想調整会議 次第

平成29年11月22日(水)午後7時30分～
保健所2階 第1研修室

1 開 会

2 議 題

(1) 病院プレゼンテーションについて

- 1 さいたま市民医療センター
- 2 埼玉精神神経センター
- 3 さいたま赤十字病院
- 4 さいたま北部医療センター
- 5 彩の国東大宮メディカルセンター
- 6 指扇病院
- 7 自治医科大学附属さいたま医療センター
- 8 西大宮病院

(2) その他

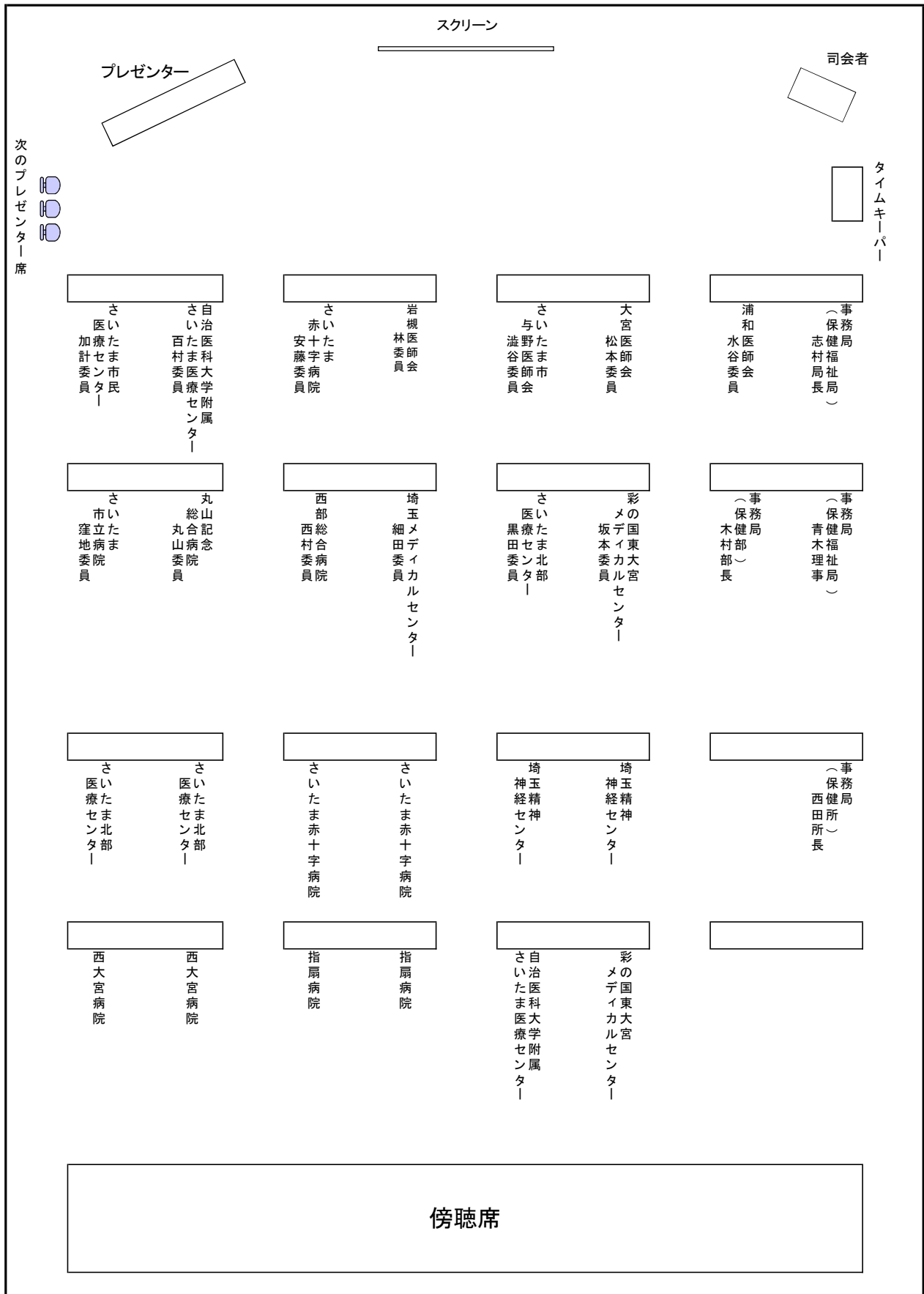
3 閉 会

《資料》

- ・ 次第
- ・ 座席表
- ・ さいたま市地域医療構想調整会議委員名簿
- ・ 病院プレゼンテーション出席者名簿
- ・ 資料1 平成28年度病床機能報告制度による報告結果(抜粋)
- ・ 資料2 病院プレゼンテーションの順番について
- ・ 資料3 病院プレゼンテーションに関するお願い
- ・ 資料4 病院説明書

平成29年度第3回さいたま市地域医療構想調整会議 座席表

保健所2階 第一研修室



さいたま市地域医療構想調整会議委員名簿

		所 属	職 名	氏 名
委 員	1	一般社団法人浦和医師会	会 長	水谷 元雄
	2	一般社団法人大宮医師会	会 長	松本 吉郎
	3	一般社団法人さいたま市与野医師会	会 長	澁谷 純一
	4	一般社団法人岩槻医師会	会 長	林 承弘
	5	さいたま赤十字病院	院 長	安藤 昭彦
	6	自治医科大学附属さいたま医療センター	センター長	百村 伸一
	7	さいたま市民医療センター	院 長	加計 正文
	8	医療法人社団協友会彩の国東大宮メディカルセンター	院 長	坂本 嗣郎
	9	地域医療機能推進機構さいたま北部医療センター	院 長	黒田 豊
	10	地域医療機能推進機構埼玉メディカルセンター	院 長	細田 洋一郎
	11	医療法人聖仁会西部総合病院	理事長	西村 直久
	12	医療法人慈正会丸山記念総合病院	理 事	丸山 泰幸
	13	さいたま市立病院	院 長	窪地 淳
オ フ ザ ー バ ー	1	学校法人順天堂		

病院プレゼンテーション出席者名簿

	所属	役職
1	さいたま市民医療センター	院 長
2	埼玉精神神経センター	理事長
		事務長
		医療福祉相談室 係長
3	さいたま赤十字病院	事務部長
		課長
4	さいたま北部医療センター	院 長
		事務長
		総看護師長
5	彩の国東大宮メディカルセンター	院長
		事務長
6	指扇病院	事務次長
		三慶会理事 副院長
7	自治医科大学附属さいたま医療センター	センター長
		総務課長
8	西大宮病院	院長
		連携部長

平成 28 年度病床機能報告制度による報告結果（抜粋）

単位：床

	医療機関名称	高度急性期		急性期		回復期		慢性期		休棟・無回答等		合計	プレゼンの参加
		H28.7.1	6年後	H28.7.1	6年後	H28.7.1	6年後	H28.7.1	6年後	H28.7.1	6年後		
1	宇治病院							47	47			47	×
2	大宮共立病院					48	48	368	368			416	×
3	大宮双愛病院			56	56			34	34			90	×
4	大宮中央総合病院									266	266	266	×
5	大和田病院							91	91			91	×
6	さいたま記念病院			132	132	60	60	40	40			232	×
7	埼玉県立小児医療センター	50	56	250	244							300	×
8	さいたま市民医療センター			293	293	47	47					340	○
9	埼玉精神神経センター			20	20			96	96			116	○
10	さいたま赤十字病院	433	433	172	172							605	○
11	さいたま北部医療センター			163	163							163	○
12	彩の国東大宮 メディカルセンター	119	166	218	171							337	○
13	指扇病院			175	175	51	51					226	○
14	指扇療養病院							240	240			240	×
15	自治医科大学附属 さいたま医療センター	441	441	167	167							608	○
16	富田病院			28	28							28	×
17	西大宮病院			107	107	91	91					198	○

病院プレゼンテーションの順番について

※あいうえお順となっております。

- 1 さいたま市民医療センター
- 2 埼玉精神神経センター
- 3 さいたま赤十字病院
- 4 さいたま北部医療センター
- 5 彩の国東大宮メディカルセンター
- 6 指扇病院
- 7 自治医科大学附属さいたま医療センター
- 8 西大宮病院

病院プレゼンテーションに関するお願い

さいたま市地域医療構想調整会議 事務局

会議の円滑な運営のため、以下の点についてご協力をお願いします。

- 病院説明書をスクリーンに映し出します。事務局がパソコンを操作いたしますので、2ページ目に移る際はお声かけください。
- 各病院のプレゼンテーション時間は5分間です。
- 4分経過時にベルを1回鳴らします。5分経過時にベルを2回鳴らしますので、プレゼンを終了してください。
- プレゼン終了毎に、質疑応答時間を2分間設けております。
- 質問する場合は、お一人でいくつも質問せず、端的な質問をお願いいたします。
- 本日、プレゼンテーション予定の病院は、任意でご参加いただいております。すべての質疑にその場でお答えすることは難しいこともありますので、あらかじめご了承ください。
- すべてのプレゼン終了後、総括質疑の時間を設けます。

病院説明書

資料 4 - 1

病院名	社会医療法人さいたま市民医療センター					
所在地	さいたま市西区島根 299-1					
病床数：						
現在（2017年）	一般病床		療養病床	合計病床数		
	340 床		床	340 床		
高度急性期病床	急性期病床	回復期病床	慢性期病床			
床	293 床	47 床	床			
2025 年	一般病床			合計病床数		
	340 床			340 床		
高度急性期病床	急性期病床	回復期病床	慢性期病床			
8 床	285 床	47 床	床			
<p>当センターは地域医療支援病院として地域の診療所、医療機関との連携を強化し、急性期患者の受け入れによる後方支援病院としての役割を担っています。急性期と回復期病棟から構成されています。さいたま市4医師会からの支援を元に、地域医療への還元を目的に活動しています。今後 SCU、HCU 等の高度急性期病床も運用する予定です。</p>						
診療科目：合計 12 科（内科、小児科、外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、耳鼻科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、健康診断科）						
平均在院日数： 12.6 日		病床稼働率： 79.8%				
政策	がん	心筋梗塞	脳卒中	糖尿病	精神	在宅医療
医療	救急	小児	周産期	災害		
病院の特徴：						
<p>二次救急病院として年間 8,000 件以上の患者を受け入れ、救急車は 4,800 台以上を受け入れています。また、小児二次救急では救急車搬送は 1,300 台以上を受け入れ、さいたま市における小児救急病院として重要な役割を担っています。内科・外科系における急性期疾患を積極的に受け入れ、急性心筋梗塞・緊急手術等にも多数対応しています。</p> <p>総合医療と専門医療の両立を目指した医療の提供により、患者満足度の高い医療を提供しています。小児アレルギー外来では昨年度 470 人以上の初診患者があり、再診 4,700 人以上の食物アレルギーの県内の経口負荷試験可能施設として県内外から受診しています。外科診療では低侵襲の内視鏡手術を中心に術後在院日数短縮に努め、緊急手術にも対応しています。整形外科による下肢人工関節手術は患者満足度としては高く、泌尿器科による経尿道的尿管採石術や腫瘍切除術も増加傾向です。今年の CT 検査機器増設により検査予約の待ち日数の大幅な短縮が図れ、地域の医療機関からの依頼にも迅速に応えられるようになっていきます。</p>						
主な紹介元医療機関	地域の医療機関より					
主な紹介先医療機関	自治医科大学附属さいたま医療センター	さいたま赤十字病院	埼玉県立小児医療センター			

<p>当病院の現状</p>	<p>病院内の総合内科と専門内科との緊密な連携が特徴です。</p> <p>救急車応需率 86.6%、紹介率 88.5%、逆紹介 98.4%の地域医療機関との密接な連携、地域の医師会の医療機関からの紹介患者に対する信頼ある医療の提供に努めています。年間新入院患者（6,542 人）の診療科別割合は内科（49.9%）、小児科（19.9%）、外科（14.3%）、整形外科（6.1%）、脳外科（2.5%）、耳鼻科（3.5%）、リハビリ（0.8%）、泌尿器科（3.0%）となっています。</p> <p>内科は虚血性心疾患、肺炎、心不全、感染症が主な疾患となり、小児科では呼吸器感染症、ウイルス性腸炎が主体です。外科では胆嚢炎、悪性腫瘍、内視鏡手術、内分泌外科の手術が多いのが特徴で平均患者年齢は 70 歳以上となっております。整形外科では股関節、膝関節手術等が多く患者のQOLの改善は著しい効果を上げています。リハビリテーションでは脳卒中、廃用症候群、運動器の回復期リハが年間 10 万単位以上、その他心リハ等も実施しています。脳血管治療は内科と脳外科で協力して実施しています。当センターは埼玉県急性期脳梗塞ネットワーク基幹施設でもあり、血管内治療は年間 45 件実施しています。病理診断では 4,000 件以上の組織診断、8,000 件以上の細胞診（7,400 件は地域医療機関からの依頼）、病理解剖は 6 件、CPC は 3~4 件で増加傾向です。</p> <p>また、地域医療機関の先生方とのケースカンファレンスとして病診連携ケーススタディを毎年 9 回開催しており、これまでで 75 回、地域医療機関からの参加医師は毎回 20 名以上と多く参加していただいております。その他講習会では、年間 ICLS 7 回、BLS 1 回、JMECC 1 回、ISLS 3 回、DisasterABC 1 回開催し、こちらも地域の医療機関スタッフが多く参加しております。</p>
<p>当病院の未来像</p>	<p>今後の超高齢社会における需要の増加と地域の医療機関の支援病院として、当センターが果たす役割は重要であるとの位置づけで病院運営に取組みます。</p> <p>脳血管内治療の推進による SCU 等、施設の増改築構想も視野に入れて今後検討を重ねていく予定です。</p> <p>地域医療支援病院の在り方としては、病院医療から在宅医療への切れ目ない医療支援を図る必要があり、病病連携、病診連携の強化を図りますとともに、患者支援を中心とした視点から社会支援を踏まえた病院機能の改革を目指します。</p> <p>災害拠点病院としての活動を通じて、災害に強い地域づくりを目指しています。</p>
<p>市民の皆さんへメッセージ</p>	<p>地域へ開かれた病院として「生活習慣病・糖尿病教室」、「股・膝関節の健康教室」の開催を定期的実施し、時代のニーズに応える活動を展開します。地域医療機関との連携を通して市民の皆様の健康と生命を守る活動と医療を提供します。</p>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場台数が不足しているため、新たな駐車場の確保を進める予定です。
<p>記載内容に関する問い合わせ先</p>	<p>社会医療法人さいたま市民医療センター 電話番号：048-626-0011</p>

病院説明書

資料 4 - 2

病院名	社会福祉法人シナプス 埼玉精神神経センター					
所在地	さいたま市中央区本町東6-11-1					
病床数：359床						
現在 (2017年)	精神科病床			内科病床		合計病床数
	救急・急性期	慢性期	一般	急性期	神経難病	
	110床	89床	44床	20床	96床	359床
(救急50床 急性期60床)						
(2025年)	精神科病床			内科病床		合計病床数
	救急・急性期	慢性期	一般	急性期	神経難病	
	110床	89床	44床	20床	96床	359床
<p>現在精神科243床、神経内科116床、合計359床の病院です。精神科は、救急・急性期から慢性期までと充実しております。神経内科は、神経難病に積極的に取り組んでおります。将来的には、地域包括ケア病棟への転換も検討して参りたいと考えております。</p>						
診療科目：合計4科（精神科、神経内科、リハビリテーション科、歯科）						
平均在院日数：128日			病床稼働率： 90.1%			
政策	がん	心筋梗塞	脳卒中	糖尿病	精神	在宅医療
医療	救急	小児	周産期	災害	認知症	
<p>病院の特徴：一口に言えば脳と神経の専門病院です。神経内科では、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症をはじめとして神経難病、認知症、脳卒中、頭痛、めまい、しびれ等の入院・外来治療を神経内科専門医がしっかり行っております。精神科では、精神科救急ベッドを有し、365日24時間精神科急性期患者様に対応しております。併設施設として、特別養護老人ホーム「ナーシングヴィラ与野」、精神科デイケア「萌木の風」、訪問看護ステーション「SN1」、地域包括支援センター等を有し、医療・介護の連携を図っております。</p>						
特徴的な診療1	さいたま市より認知症疾患医療センター、認知症初期集中支援事業を受託しております。					
特徴的な診療2	頭痛の専門外来を開設しており、専門医による、専門性の高い診察を実施しております。					
特徴的なスタッフ	認知症認定看護師2名配置。認知症に関する専門的な知識の提供。医療福祉相談員（精神保健福祉士）14名配置					
主な紹介元医療機関	さいたま赤十字病院	さいたま市民医療センター	自治医大さいたま医療センター			
主な紹介先医療機関	さいたま赤十字病院	さいたま市民医療センター	自治医大さいたま医療センター			

当病院の現状	<p>一般病床：神経難病を対象とした96床（現在50台以上の人工呼吸器が稼働中）と急性期病棟20床で神経難病患者様のレスパイト入院、外来患者様の脳卒中、肺炎、認知症、頭痛、めまい、しびれの患者様に対応しております。</p> <p>精神科病床：365日24時間対応のスーパー救急病院として、精神科急性期の患者様に積極的に対応しております。認知症患者様の問題行動発症時にも認知症病棟で問題行動に対する入院加療も行っております。</p>
当病院の未来像	<p>より地域に密接した脳の専門病院として、地域包括ケアの中心的な役割を入院、外来を介して、担って行きたいと考えております</p>
市民の皆さんへメッセージ	<p>昭和28年に開設以来、一貫して脳の専門病院として、地域医療を推進してまいりました。現在は内科系では主に神経難病、認知症、頭痛に力を注いでおります。専門外来として「物忘れ外来」「頭痛外来」の予約も承っております。</p> <p>精神科では365日24時間対応のスーパー救急病院として、精神科急性期の患者様に積極的に対応しております。認知症患者様の問題行動発症時にも認知症病棟で問題行動に対する入院加療も行っております。</p> <p>今後高齢者が増えるに従い我々へのご要望も増えると予測されますので、職員全員でご要望にお応えしていきたいと考えております。</p>
その他	

記載内容に関する問い合わせ先	<p>埼玉精神神経センター 理事長兼センター長 丸木 雄一 電話番号：048-857-6811</p>
----------------	---

病院名	さいたま赤十字病院																																																					
所在地	さいたま市中央区新都心 1 - 5																																																					
病床数：	<table border="1"> <tr> <td>現在（2017年）</td> <td colspan="2">一般病床</td> <td>療養病床</td> <td colspan="2">合計病床数</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">571床</td> <td>床</td> <td colspan="2">571床</td> </tr> <tr> <td>高度急性期病床</td> <td>急性期病床</td> <td>回復期病床</td> <td>慢性期病床</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>531床</td> <td>40床</td> <td>床</td> <td>床</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <table border="1"> <tr> <td>2025年</td> <td colspan="2">一般病床</td> <td>精神病床</td> <td colspan="2">合計病床数</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">632床</td> <td>6床</td> <td colspan="2">638床</td> </tr> <tr> <td>高度急性期病床</td> <td>急性期病床</td> <td>回復期病床</td> <td>慢性期病床</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>552床</td> <td>80床</td> <td>床</td> <td>床</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>当院は、高度急性期及び急性期に特化した病床編成となっております。 今後は許可病床数（一般 632 床）まで病床を拡張し、高度急性期機能をさらに強化して質の高い信頼される医療を提供していきます。</p>						現在（2017年）	一般病床		療養病床	合計病床数			571床		床	571床		高度急性期病床	急性期病床	回復期病床	慢性期病床			531床	40床	床	床			2025年	一般病床		精神病床	合計病床数			632床		6床	638床		高度急性期病床	急性期病床	回復期病床	慢性期病床			552床	80床	床	床		
現在（2017年）	一般病床		療養病床	合計病床数																																																		
	571床		床	571床																																																		
高度急性期病床	急性期病床	回復期病床	慢性期病床																																																			
531床	40床	床	床																																																			
2025年	一般病床		精神病床	合計病床数																																																		
	632床		6床	638床																																																		
高度急性期病床	急性期病床	回復期病床	慢性期病床																																																			
552床	80床	床	床																																																			
診療科目：	合計 33 科（肝胆膵内科・消化管内科・呼吸器内科・血液内科・膠原病リウマチ内科 腎臓内科・糖尿病内分泌内科・総合臨床内科・腫瘍内科・神経内科・循環器内科・心療科 小児科・外科・乳腺外科・整形外科・脳神経外科・呼吸器外科・心臓血管外科・皮膚科 泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻科・形成外科・リハビリ科・放射線診断科 放射線治療科・麻酔科・緩和ケア科・口腔外科・病理診断科・救急科）																																																					
平均在院日数：	11.7日(H29.9実績)			病床稼働率：94.2%(H29.9実績)																																																		
政策医療	がん	心筋梗塞	脳卒中	糖尿病	精神	在宅医療																																																
	救急	小児	周産期	災害																																																		
病院の特徴：	<ul style="list-style-type: none"> 高度救命救急センター・総合周産期母子医療センター・地域医療支援病院 地域がん診療連携拠点病院・DPCⅡ群病院・臨床研修指定病院 災害拠点病院 																																																					
特徴的な診療機能	<ul style="list-style-type: none"> 高度救命救急センターはICU・CCU・HCU等の高度診療機能を有するほか、ドクターカーも運用しております。 総合周産期母子医療センターでは母体胎児集中治療室(MFICU)を開設し県立小児医療センターと共同で母児に最適な医療を提供しております。 循環器疾患の分野では、従来からのカテーテル治療に加えハイブリッド手術室を整備し診療体制を強化しました。 																																																					

特徴的な診療設備	<ul style="list-style-type: none"> サイバーナイフ PET/CT MR I (3台) ハイブリッド手術室
主な紹介元医療機関	平成 28 年度実績 2888 施設 (うち、さいたま市 922 施設)
主な紹介先医療機関	平成 28 年度実績 2280 施設 (うち、さいたま市 818 施設)
当病院の現状	<ul style="list-style-type: none"> 高度救命救急センターでは年間約 9400 件の救急車を受入れ、また、ドクターカーは年間 1280 件の出動要請に対応しております。 総合周産期母子医療センターでは新病院開設以来、ハイリスク分娩管理(193 件)、妊産婦緊急搬送入院(147 件)など当院での診療が必要な妊産婦を積極的に受入れています。 がん診療分野ではサイバーナイフ、PET/CT を新規導入し、また内視鏡センターの規模を拡充して安心安全な医療をより多くの患者さんへ展開しております。 合併症等の複雑な病態の患者さんに対しては、複数の診療科が協力し適切な医療を行える体制を整えております。 外来は完全紹介予約制であり、地域の医療機関との緊密な連携により、地域に根差した医療を提供しております。 災害拠点病院としてDMAT を 3 チーム、救護班を 4 班配備するなど災害時医療、救護体制の整備に努めております。
当病院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> 「患者さんにも、地域の医療機関にも親しまれる病院」であり続けるため、現在の診療機能・体制を強化し、高度急性期・急性期医療により特化した質の高い信頼される医療を行っていきます。 診療機能の面では、当院は許可病床数・一般 632 床のところ現在 619 床で運用されておりますので、今後は当院の病床計画のとおり MFICU・HCU を拡張し、また SCU を開設して高度急性期医療の体制強化に努めます。 精神科病棟 (6 床) を新規に開設し、精神身体合併症の患者さんを積極的に受入れます。また、精神科的治療が必要な妊産婦の受入れについても検討しております。
市民の皆さんへメッセージ	当院は高度急性期医療を展開して行くため、救急患者をできるだけ多く受け入れること、及び地域の医療機関と連携し当院でしか治療ができない患者さんを重点的に診療することが、極めて重要な当院の役割だと考えております。
記載内容に関する問い合わせ先	さいたま赤十字病院 経営企画課 電話番号：048-852-1111

病院説明書

資料 4 - 4

病院名	独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO） さいたま北部医療センター					
所在地	さいたま市 北区 盆栽町 453 番地					
病床数：						
現在（2017年）	一般病床		療養病床		合計病床数	
	163 床		床		163床	
高度急性期病床	急性期病床	回復期病床	慢性期病床			
床	163床	床	床			
↓						
2025年	一般病床				合計病床数	
	163 床				163床	
高度急性期病床	急性期病床	回復期病床	慢性期病床			
床	110床	53床	床			
<p>当院は現在、急性期の病床を持っています。平成 31 年 3 月開院予定の新病院においては急性期に加え地域包括ケア病棟を設け、高度急性期から在宅へ戻るためのリハビリや、在宅や介護施設から直接急性期の患者さんを受け入れ、地域に密着した幅広い医療を提供していきます。</p>						
診療科目：合計 17 科（内科、小児科、外科、泌尿器科、皮膚科、眼科、放射線科、歯科口腔外科 等）						
平均在院日数：14.1 日			病床稼働率：71.4%			
政策	がん	心筋梗塞	脳卒中	糖尿病	精神	在宅医療
医療	救急	小児	周産期	災害		
病院の特徴：						
<ul style="list-style-type: none"> ・救急告示病院として二次輪番制に参加しています。 ・糖尿病治療にも力を入れており特に糖尿病透析予防外来を開始しました。 ・訪問看護ステーションを併設しており在宅医療にも力をいれています。 						
特徴的な外来	さいたま市大宮休日夜間急患センターを開設しており、特に小児科は土曜日の昼間を除き年中診療をしております。					
特徴的な診療科 泌尿器科	3名の泌尿器科専門医が癌治療に積極的に取り組んでおり、癌専門病院に匹敵する手術件数を実践しています。					
特徴的なスタッフ 管理栄養士	5名の管理栄養士がおり、病院内の栄養指導のみならず、在宅医療における訪問栄養指導も行っています。					
主な紹介元医療機関	自治医科大学附属さいたま医療センター	なかじま総合内科クリニック		くぼうち内科クリニック		
主な紹介先医療機関	自治医科大学附属さいたま医療センター	さいたま市民医療センター		なかじま総合内科クリニック		

当病院の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・当院は「日々精進し、患者さん、医療者が、ともに納得できる、良質な医療を提供する。」を基本理念としています。 ・附属の健康管理センターでは、地域住民の方々の健康を守り、病気の予防と早期発見に取り組んでいます。 ・地域の身近な病院であることを目指し、開業の先生方との病診連携、より高度な病院との病病連携、更には介護施設との連携に力を入れています。 ・消化器外科医が4名と充実し、消化器内科と協力し胃癌や大腸癌などの消化器疾患の専門治療に取り組んでいます。 ・在宅医療にも力を入れており附属の訪問看護センターと居宅介護事業所が在宅医療を支え、訪問診療も行っています。
当病院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年3月に開院予定の新病院では53床の地域包括ケア病棟を開設し、リハビリを充実することにより高度急性期病院から在宅医療への橋渡し役を担うと共に、在宅や介護施設からの急性期入院を積極的に受け入れていきます。 ・一方、急性期医療の充実のため高齢者の増加と共に増える心臓病に対応するため設備の充実と常勤の循環器内科専門医を配置する予定です。 ・入院透析治療を広く受け入れるため新病院では透析機器を現在の2台から22台に増設します。 ・常勤の腎臓内科専門医を増やし、広く腎臓病の専門治療を行います。
市民の皆さんへメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・当院は今後も現在の診療内容を維持・充実させ、更に充実した専門医療および総合医療を機能的に組み合わせ、地域住民の方々の生活を支える医療を行っていきます。 ・救急医療も現在より充実させていきますが、中小病院ですので全ての診療科に対応は出来ませんので、必要に応じて高度急性期病院に紹介させていただきます。
その他	平成31年3月に北区役所の北隣に新病院を開院する予定で現在工事中です。

記載内容に関する 問い合わせ先	JCHO さいたま北部医療センター 総務企画課 電話番号：048-663-1671
--------------------	--

病院説明書

資料 4 - 5

病院名	医療法人社団協友会 彩の国東大宮メディカルセンター					
所在地	〒331-8577 さいたま市北区土呂町 1522					
病床数：337 床						
現在 (2017 年)	一般病床		療養病床	合計病床数		
	337 床		床	337 床		
高度急性期病床	急性期病床	回復期病床	慢性期病床			
119 床	218 床	床	床			
2025 年	一般病床			合計病床数		
	337 床			337 床		
高度急性期病床	急性期病床	回復期病床	慢性期病床			
127 床	210 床	床	床			
<p>診療科目：合計 28 科（ 内科／循環器内科／消化器内科／呼吸器内科／神経内科／腎臓内科／糖尿病・代謝内科／血液内科／リウマチ科／緩和ケア内科／外科／消化器外科／乳腺外科／肛門外科／整形外科／形成外科／脳神経外科／耳鼻咽喉科／眼科／泌尿器科／婦人科／皮膚科／麻酔科／放射線科／リハビリテーション科／救急科／病理診断科／歯科口腔外科 ）</p>						
平均在院日数：14.8 日（平成 28 年度）			病床稼働率： 91.5%（平成 28 年度）			
政策	がん	心筋梗塞	脳卒中	糖尿病	精神	在宅医療
医療	救急	小児	周産期	災害		
<p>病院の特徴：</p> <p>1. JCI (Joint Commission International) という国際的な医療機能評価機構から、日本で 24 番目の国際基準を全うした病院として認定されています。患者さまに対する医療安全の確保、医療の質の向上と継続的な改善、その成果とともに成果の検証まで要求されるハードルの高い審査を通過し、スタッフひとりひとりが誇りを持って業務に携わっています。</p> <p>2. 埼玉県がん診療指定病院として、がんに対する集学的治療を提供しています。早期診断（健康診断を含む）から終末期医療まで全ての治療過程の患者さまに対応しています。</p> <p>① 外来通院しながら抗がん剤治療を受けられるよう、外来化学療法室 19 床を有しています。</p> <p>② 放射線治療としてリニアックを導入し、根治的照射、緩和的照射、予防照射が可能です。</p> <p>③ 放射線診断として PET-CT を導入しています。“原発不明癌”の診断や、がんの転移・再発を調べるのに特に重要な検査とされています。88 件/月（平成 28 年度実績）の検査を行っております。</p> <p>3. 救急医療体制 平成 28 年度埼玉県知事より、救急受入件数と受入率改善部門で県下一番として表彰を受けました・</p>						
特徴的な施設認定	34 の各学会から教育認定施設として認定され、指導医・専門医を擁しています。					
特徴的な診療体制	1. 各種専門外来（鼠径ヘルニア外来、肝臓外来、前立腺外来、男性更年期外来、痛風・高尿酸値血症外来等、各種専門外来も行っております。）					


	<p>2.婦人科腫瘍の内視鏡手術（腹腔鏡手術 58 件、子宮鏡手術 22 件） （平成 27 年 7 月～平成 29 年 3 月実績）</p> <p>3.無輸血手術（輸血を拒否する患者の自己決定権を尊重し、当院では無輸血手術の対応をしています。）</p> <p>4.さいたま市初の緩和ケア病棟（さいたま市初の緩和ケア病棟を平成 27 年 7 月に開設し、これまでの入院患者さんの延べ数は 382 名です。 （平成 27 年 8 月～29 年 9 月実績）</p>		
特徴的な設備	<p>1.内視鏡手術（日本内視鏡外科学会評議員、技術認定医による外科的内視鏡下手術は昨年度実績で 479 件行われました。また、日本肝胆膵外科学会高度技能専門医による肝胆膵手術の他、腹腔鏡下によるヘルニア手術実施件数は全国で 8 番目の実績。）</p> <p>2.無菌治療室（血液疾患の治療では、無菌室の個室 2 部屋と 4 人部屋（準無菌室）が 3 部屋の合計 14 床で対応）</p> <p>3.放射線機器（リニアック・PET-CT・MRI・CT 等最新の設備を導入）</p>		
主な紹介元医療機関	自治医科大学附属 さいたま医療センター	蓮田一心会病院	さいたま記念病院
主な紹介先医療機関	自治医科大学附属 さいたま医療センター	上尾中央総合病院	さいたま記念病院
当病院の現状	<p>平成 27 年 7 月に新築移転し ICU8 床、HCU12 床の運用を開始しました。 また、臨床研修指定病院として研修医の教育にも力を入れており、医師臨床研修プログラムの定員 8 名に対し、5 年連続フルマッチしております。</p>		
当病院の未来像	<p>1.世界基準の質の提供（国際病院として、国籍、言語にかかわらず、すべての患者さまに平等で安全かつ質の高い医療・ケアを提供します。）</p> <p>2.救急医療体制のさらなる強化、高度急性期医療の提供（更に救急体制を強化し、地域の医療機関との連携を取りながら、高度の急性期医療の提供体制を強化します。）</p> <p>3.地域医療支援病院への取り組み（地域の医療機関がより質の高い医療を地域の皆さまに提供できるよう、地域医療支援病院の承認を目指し、地域包括ケア全般を急性期病院として守っていきたいと考えています。）</p> <p>※紹介率 53.9% 逆紹介率 57.1%（平成 29 年 9 月実績）</p>		
市民の皆さんへメッセージ	<p>市民の皆様に国際レベルの医療安全を保障された、高度な医療を提供いたします。</p>		
その他	<p>当院では無料で自由に参加できる「患者教室」を毎月開催しています。興味のある教室に、お気軽にご参加ください。</p>		

記載内容に関する 問い合わせ先	<p>事務次長 立川敏章</p> <p>電話番号：048-665-6111（代表）</p>
--------------------	---

病院名	医療法人 三慶会 指扇病院		
所在地	さいたま市西区宝来 1295-1		
病床数			
現在 (2017 年)	一般病床	回復期病床	合計
	175 床	51 床	226 床
↓			
2025 年	一般病床	回復期病床	合計
	175 床	51 床	226 床
<p>当院は現在、急性期病棟 175 床、回復期リハビリ病棟 51 床、計 226 床を有しております。2025 年以降もこの病床で診療を継続したいと考えております。</p> <p>開設以来、二次救急を中心に地域に密着した医療に取り組んでまいりました。特に近隣に老人保健施設が多数あり、密に連携しております。</p> <p>良質で心のかよう医療の提供を目指し、それぞれの専門性を生かしながら、初期治療、一般診療も各科でサポートし合いながら急性期医療、リハビリを行っています。</p>			
<p>診療科目：合計 14 科</p> <p>(内科・循環器内科・外科・肛門外科・整形外科・脳神経外科・眼科・皮膚科 泌尿器科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科・歯科)</p>			
平均在院日数：18.0 日		病床稼働率：95.6%	
政策医療	がん 糖尿病 救急		
<p>当院の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急告示病院として第二次救急の病院群輪番制に参加しています。 救急車は 80% を応需しております。 地域に密着した医療に取り組んでおります。特に地域には老人保健施設が多く、積極的に受け入れております。 慢性期病院である指扇療養病院、転換型介護老人保健施設「びわの葉」も隣接しており、急性期治療、リハビリテーションや長期療養、高度な介護と、患者さまの状態に応じた医療をワンストップで提供できる体制を整えております。 			
特徴的な診療科	<p>消化器外科 4 名、消化器内科 6 名が在籍しており、さらに埼玉医科大学総合医療センター、帝京大学病院から非常勤外科医が派遣されており、年間 200 例の手術件数ですが、今後は消化器疾患にさらに力を入れていきたいと考えています。整形外科は 4 名在籍し、外傷を中心に年間 500 例の手術を施行しております。内科医は計 10 名で一般内科を幅広く診療し、心臓カテーテル検査、血管内治療も施行しています。回復期リハビリは専門医が専任しております。放射線科医がほぼ全例を当日に読影しています。</p>		
特徴的な医療機器	<p>3D 対応移動型 C アーム装置 1.5 テスラ MRI</p> <p>64 列マルチスライス CT 血管撮影装置 マンモグラフィー装置</p> <p>睡眠時無呼吸症候群の精密検査 (PSG) (データ解析ができる技師が在籍)</p>		

特徴的なスタッフ	臨床検査技師 睡眠時無呼吸症候群の精密検査（PSG）のデータ解析ができる技師が在籍しており、通常結果まで2～3週間かかるところを、1週間で出せる体制を整えています。また、PSG検査では土日の1泊入院検査も可能となっており、忙しい会社勤めの患者さまにも休みを気にせず検査が受けられる体制となっております。		
主な紹介元医療機関	さいたま赤十字病院	自治医科大学附属さいたま医療センター	彩の国東大宮メディカルセンター
主な紹介先医療機関	さいたま赤十字病院	自治医科大学附属さいたま医療センター	彩の国東大宮メディカルセンター
当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> 急性期地域医療に対し、かかりつけの患者さまや施設入所中の高齢者、救急搬送患者さまに至る幅広い受け入れを行っています。 高齢者の救急医療にも力を入れ、多くの老人介護施設などと提携し、医療支援を行っています。 基幹病院で超急性期加療の後、加療の継続およびリハビリテーションが必要な患者さまの紹介は可能な限り受け入れております。 同じく、急性期治療の後、慢性期医療が必要な患者さま、在宅介護が困難な患者さまの紹介も積極的に受け入れております。 放射線診断専門医（1名）が常勤しているため、CTとMRIの読影結果においては、素早い対応が可能となっております。 専任の看護師と社会福祉士などが連携し、ご家族の希望に沿った退院計画を立て、的確な退院支援に取り組んでいます。 		
当病院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> 近隣の施設やクリニックとの連携を深め、さらに地域の急性期医療を支える病院としての役割を果たしてまいります。 消化管がんを中心に消化器系疾患への対応と、脳血管や心臓といった血管系の疾患に対する診療体制の強化も目指してまいります。 救急車応需率を90%以上にしたいと思っております。 		
市民の皆さんへメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> 急性期医療を担う指扇病院と長期療養を支える指扇療養病院を合わせ、包括的な医療提供を行っています。 近隣の医療機関と積極的な連携を図り、安心して受けられる医療、信頼される医療機関として日々診療を行っています。 		
その他	<ul style="list-style-type: none"> 予防接種、健康診断、人間ドックが受けられる健康診断部を指扇療養病院内に設置しております。 約500台の無料駐車場を完備しております。 		

記載内容に関する問い合わせ先	医療法人 三慶会 指扇病院 担当：事務次長 増田博司 電話番号：048-623-1101（代表） ホームページ：http://www.sashiogi.com
----------------	---

病院名	 自治医科大学附属さいたま医療センター					
所在地	〒330-8503 さいたま市大宮区天沼町 1-847 TEL048-647-2111 (代)					
病床数：(許可病床数)						
現在(2017年)	一般病床	療養病床	合計病床数			
	626床	0床	626床			
高度急性期病床	急性期病床	回復期病床	慢性期病床			
456床	170床	0床	0床			
↓						
2025年	一般病床	療養病床	合計病床数			
	631床	0床	631床			
高度急性期病床	急性期病床	回復期病床	慢性期病床			
458床	173床	0床	0床			
診療科目：合計19科 (内科、循環器内科、小児科、外科、脳神経外科、心臓血管外科、整形外科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科、皮膚科、リハビリテーション科、麻酔科、放射線科、精神科、歯科口腔外科、病理診断科、救急科)						
平均在院日数：11.3日(平成28年度)			病床稼働率：89.8%(平成28年度)			
政策医療	がん	心筋梗塞	脳卒中	糖尿病	精神	在宅医療
	救急	小児	周産期	災害		
病院の特徴： ・当院は、大学附属病院としての使命である高度な医療を提供し、地域医療に貢献しています。 ・救命救急センター(ER)を開設しており、救急車受入れ件数は年間8,243件(H28実績)です。 ・地域がん診療連携拠点病院の指定を受けており、専門的ながん治療を提供しています。 ・地域周産期母子医療センターに認定されており、地域の中核的機能を担っています。 ・優秀な医療スタッフ及び最新の設備、医療機器を整備しており、高度急性期医療の提供に十分対応できるよう努めています。						
特徴的な救命救急センター	救急患者全てを救急医が初期診療し、初期治療を行う部屋(初療室)でCT撮影、血管造影撮影及び血管内止血術ができ、さらに緊急開胸手術・開腹手術も行える環境(ハイブリッドER)を整備しております。なお、重症患者を搬送する救急車受入れ率は県内第1位(97.8%)、救急車受入れ件数は県内第2位となっています。					
特徴的な診療内容	心臓カテーテル治療や心臓手術では全国屈指の件数と成績を誇り、急性心筋梗塞や大動脈解離などの循環器疾患の緊急手術に24時間対応しています。また、内科・外科の医療チームが行う「ハイブリッド治療」、特にカテーテルで大動脈に人工弁を植え込む「TAVI」(H28実績37件、累積110件)という治療を行っています。					
特徴的な医師への指導体制	内科系、外科系の各専門診療科の専門医による充実した指導体制のもと、高度な医学知識や技術を備えもった医師を養成しています。また、当院で学んだ最新の知見や技術を身に備えた医師を地域の医療機関に指導医として派遣し、地域の現場で最新の知見を学ぶことができるようにしています。					

特徴的な診療体制	外来は完全予約制を採用しており、患者待ち時間の短縮を図るため、予約システムの効率化により、平均待ち時間は約20分となっています。また、入院待ち患者が早期に入院できるよう各診療科が使用できる共用床（30床）を活用し、効果的なベッドコントロールを実施しております。		
主な紹介元医療機関	さいたま北部医療センター	彩の国東大宮メディカルセンター	大宮双愛病院 大宮中央総合病院
主な紹介先医療機関	さいたま北部医療センター	共済病院	大宮双愛病院
当病院の現状	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年4月に3次救急医療機関の指定を受け、救命救急センターとして従来からの2次救急も継続しつつ、さらに平成29年5月には10床を増床し、30床24時間体制で地域の救急医療に貢献しています。 医療の高度化に伴い、安全で質の高い医療を提供するため、ICU・CCU（集中治療室）を平成29年8月に8床、さらに年内には2床増床し、合計22床とし、EICU（救命集中治療室）8床と合わせて30床で運用することで、診療機能の充実を図っています。 平成26年8月に地域がん診療連携拠点病院の指定を受け、専門的ながん医療を提供できるよう、がん化学療法センターの充実やリニアック（がんの放射線治療機器）を増設するとともに、患者・住民へのがんに関する最新情報を提供する市民公開講座の開催やがん治療経験者との交流の場としてがんサロンも設けています。 平成22年5月には地域周産期母子医療センターに認定され、地域の周産期医療の中核的機能を担い、母体及び胎児のハイリスク妊娠に対する医療、新生児医療を提供しています。 		
当病院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> 本年12月から、医師による専門的な処置が速やかに救助現場で行えるよう、医師が現場に急行するドクターカーの運行を開始します。 近い将来、患者サポートセンター（仮称）を設け、入院後に速やかに治療が始められるよう、入院前から退院後の生活までの調整を行い、患者さんやご家族の不安軽減を行います。 県内の産科医療機関におけるICTを活用した疾病診断を支援し、地域で安心して出産できる環境の整備に積極的に協力していきます。 超高齢時代に対応すべく地域の医療機関・在宅医療従事者とも連携し、多職種チームによる急性期—慢性期—在宅のシームレスな医療構築を目指し、ICTも活用したネットワークの構築を推進していきます。 		
市民の皆さんへのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> わかりやすい安心な医療を提供するとともに、かかりつけ医とも連携し、住み慣れた地域での療養を支援します。また、スムーズな診療予約ができるよう努めてまいります。 高度急性期や急性期を担う病院として最善の医療を提供し、地域住民の方々に安心して診療を受けていただける医療機関にしていきたいと考えております。 		
その他	<ul style="list-style-type: none"> 現在、外来等のリニューアル工事を継続して実施しております。ご不便、ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解、ご協力の程、よろしく願います。 当院へお越しの際は、大宮駅東口からのバス（4番乗り場）が便利です。 		
記載内容に関する問い合わせ先	自治医科大学附属さいたま医療センター 総務課 総務企画係 電話番号 048-648-5219		

病院説明書

資料4-8

病院名	特定医療法人明浩会 西大宮病院				
所在地	さいたま市大宮区三橋1丁目 1173番地				
病床数： 198床					
現在（2017年）	一般病棟		療養病床	合計病床数	
	198床			198床	
高度急性期病床	急性期病床	回復期病床	慢性期病床		
	107床	91床			
↓					
2025年	一般病棟		療養病床	合計病床数	
	198床			198床	
高度急性期病床	急性期病床	回復期病床	慢性期病床		
	107床	91床			
<p>当院は昭和48年に開設し、以降大宮西口地区の住民を対象とした医療の提供に努めてまいりました。平成25年に55床の増床許可（急性期12床、回復期リハビリ43床）を受け、平成28年6月に新病棟「リハビリ病棟」をオープンし、現在は外来診療、一般病棟、回復期リハビリ、在宅医療の分野で地域医療に貢献できるよう尽力を続けています。</p>					
診療科目：合計16科	整形外科/リハビリ内科/循環器科/アレルギー科/リウマチ科/外科/消化器科/泌尿器科 眼科/脳外科/皮膚科/形成外科/美容外科/放射線科/麻酔科				
平均在院日数：〔一般〕12.4日/〔回復期〕49日	病床稼働率：〔一般〕91.3%/〔回復期〕94%				
政策医療	がん	心筋梗塞	脳卒中	糖尿病	精神
	救急	小児	周産期	災害	在宅医療
病院の特徴：	1日平均640名の外来患者さんの診療に対応し、必要に応じ入院治療を行っています。高度な治療が必要な場合、さいたま赤十字病院や自治医大さいたま医療センター等との連携を軸に患者さんを紹介し、治療後は速やかな転院受入れに努め、回復期リハビリを提供しています。				
特徴的な診療科	〔整形外科〕：外傷、変性疾患、特にスポーツ外傷・障害においては全国各地から紹介を頂きアスリートの活躍になどにも幅広く貢献しています。 〔リハビリテーション科〕：回復期リハビリ病棟では365日のリハビリ提供を実践し在宅復帰を推進しています。外来リハビリでは診療報酬の制限がある中で、可能な限り継続した訓練を提供できるよう努めています。				
特徴的な部門	〔放射線科〕：MRI（1.5Tスライ2台）CT（64列マルチスライ）の画像診断機器を整備し、院内での活用のほか、地域開業の先生方に共同利用していただけるよう専用の予約システムを整備し、迅速で信頼性の高い画像検査を続けています。 〔在宅診療部門〕：介護保険に先立ち、平成11年度より訪問看護ステーションを開設し、合わせて定期訪問診療を立ち上げました。18年間の実績をもとに、現在では内科、整形外科、泌尿器科、皮膚科、眼科など様々な診療科が訪問に伺っています。				
特徴的なスタッフ	在宅訪問診療を効果的に提供していくため、医療連携部門内に「在宅診療コーディネーター（MSW兼務）」を配置しています。ケアマネジャーや訪問看護ステーションとの連携を軸に、医師の診断や指示が適切に実行できるよう密なネットワークを心がけています。結果ご家族が安心して「自宅での看取り」を選択できるよう理解を得られています。				
主な紹介元医療機関	さいたま赤十字病院	自治医大さいたま医療センター	東大宮メディカルセンター		
主な紹介先医療機関	さいたま赤十字病院	自治医大さいたま医療センター	東大宮メディカルセンター		

当病院の現状	<p>○常勤医師 <u>22名</u> / 非常勤医師 <u>約70名</u></p> <p>○主な手術件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整形外科 717件 (骨折観血的手術/人工関節置換術/靱帯再建術 他) ・外科 341件 (胃がん/大腸がん/胆嚢摘出/内視鏡的切除術 他) ・形成外科 379件 (皮膚皮下腫瘍摘出/皮弁作成術/血管腫摘出 他) ・泌尿器科 208件 (結石破碎/前立腺がん/膀胱がん/腎がん 他) ・眼科 688件 (白内障/緑内障/水晶体再建術/網膜光凝固術 他) <p>○回復期リハビリテーション病棟 (リハビリ科職員; PT48名/OT15名/ST4名/合計67名)</p> <p>平成28年6月の診療棟オープン以降、現在まで94%以上の稼働を維持しています。さいたま赤十字病院、自治医大さいたま医療センター、東大宮メディカルセンターなど大宮地区の高度救急医療施設が適切に稼働できるよう、治療後の患者さんを正確迅速に当院回復期リハビリへ受入れています。当院の持つ「回復期リハビリ」という機能を有効活用していただけるよう、病病連携/地域医療連携に尽力を続けています。</p>
当病院の未来像	<p>○在宅医療 大宮西口地区には、いわゆる高齢者施設が立ち並び「施設在宅」という言葉が聞かれるようになりました。高齢者施設には提携する施設訪問専用の在宅クリニックが存在しています。 当院が目指す在宅医療は、「住み慣れた自宅で過ごす」をモットーにご自宅で療養生活が送れるよう、在宅診療部門を整備しています。今後も患者さんのニーズに耳を傾け、地域住民のための在宅医療が実践できるよう発展させる所存です。</p> <p>○回復期リハビリ病棟 急性期治療を脱した患者さんの受け皿となれるよう十分なりハビリ職員の配置を続けていく所存です。病床転換について、現時点では回復期病床が明らかに不足している状況ではないと認識しています。2025年に向け関連医療機関との接点を多く持ち、医療機関のニーズ、地域住民のニーズを見極めた上で検討を重ねる所存です。</p>
市民の皆さんへメッセージ	<p>「まごころのこもった医療の提供」を理念に掲げ、外来診療から急性期治療、回復期リハビリ、在宅医療、ケアサービスの場面で安心を提供していきたいと思います。</p>
その他	
記載内容に関する問い合わせ先	<p>特定医療法人明浩会 西大宮病院 事務長 齋藤弘樹 電話番号： 048-644-0511 (代表)</p>